

# ONE TEAM

小松川第二中学校 第3学年

令和6年5月31日（金）

## 進路について～進路担当の話～

3年生最初の定期考査である1学期期末考査まで3週間をきりました。大会等で、まだまだ部活動が忙しい人も多いと思いますが、定期考査は成績に大きく影響する大事なもののなので、しっかりと準備をしてテストに臨んでほしいと思います。

定期考査に全力で臨む以外に、今みなさんに心がけてほしいことを2つ挙げておきます。どちらも自分の進路決定につながる大切なことです。



### ① 1学期期末考査の翌日に実施される「第1回領域別テスト」に全力で立ち向かうこと

高校入試問題は中学校3年間で学習した内容が出題範囲です。1・2年生で学習した内容が入試問題の半分以上を占めることになります。今のうちから1・2年生の内容を復習し、領域別テストで苦手な分野を把握、改善し、次の領域別テストに挑戦というサイクルを確立させておく必要があります。

### ② 自分にあった高校を見つけること

志望校を具体的に決定していくのは2学期以降になりますが、今のうちから高校について情報を集め、少しずつ絞っていく必要があります。そのためには実際に高校が実施している説明会や相談会に参加しなければなりません。説明会等に参加した際には、次のような点に注目してみるとよいでしょう。

部活動への取組は盛んか

高校までの道のりはどうか

高校卒業後はどのような進路になっているか

生徒の雰囲気はどうか

校舎、設備は充実しているか

進路情報については、3年生の階（2階フロア）の掲示板や、学年のteams(ONE TEAM)に配信しています。意識してみましょう。



## 来週の予定

日にち	曜日	内 容
6月 3日	月	朝礼 安全指導 歯科講和 ①期末考査学習計画表 PTA 常任委員会
4日	火	小中連携 再登校16:00
5日	水	45分×4 区中研一斉部会 15:30まで自宅学習 再登校16:30
6日	木	第1回文化祭実行委員会
7日	金	⑥修学旅行探究テーマガイダンス（東武トップツアーズ）



※6月8日(土)科学センター開室式

# 生徒の作文

## 運動会

1組

今年の運動会は、中学校で最後となる運動会でした。去年は男子と女子でソーラン節やダンスで演技が分かれていましたが、今年は男女共に演技がソーラン節になりました。また、学年種目である「Road to ONE TEAM」にも種目が追加されたり、オープニングダンスをすることになり、昨年とは少し違う運動会でした。昨年と大きく違うところは、私たち3年生が1、2年生や学校を引っ張り、盛り上げていかなければならないことでした。最初は本当にうまくいくのかが不安でした。

ソーラン節は男子に1から教えてもらい、なんとか振りを覚えることはできましたが、1度踊っただけでも息が切れてしまうほど疲れてしまいました。極め組の講師の先生がソーラン節を教えてくださいました。講師の先生のソーラン節は、1つ1つの動作に力が入っていて、止めるところはしっかりと止めていて、とても迫力のある踊りでした。いざやってみると、1つ1つの動作に気を付けながら踊るのはとても大変でした。それでも友達と細かく何度も確認や練習をしました。運動会本番では今までよりも良く踊れて全員でよいソーラン節にでき、その動画を見返すと声や動作から魂のようなものを感じ、これがコマⅡ魂なのかなとも思いました。

ソーラン節以外の競技でもクラスの友達と協力し、予行と本番で優勝することができました。大縄跳びは70回まで跳ぶことはできなかったけれど、練習で50回という学年の新記録を出すことができてとてもうれしかったです。

今回の運動会で私たち3年生が少しでも気を抜いてこれくらいでいいかとしてしまうと、それを後輩が真似をしようとするのがわかりました。練習からこのようにならないために、常に後輩に見られていると思って行動していきたいとも思いました。運動会を成功させることができたのは、体育委員を中心とした係の人や先生方、学年全体のおかげなので感謝したいです。

## 2日間の軌跡

3組

「3位、おめでとう！！」クラスメイトのその言葉に、私は胸がいっぱいになった。

練習が始まったとき、私はクラスがまとまっていないように感じた。まともに練習時間が取れていない状況に悩んでいる人もいた。そうした中で迎えた予行練習。クラス別で競う競技はすべて最下位。結果ももちろんビリで、優勝クラスとの差は2倍近くあった。私は悔しさと同時に不安になった。中学校最後の運動会は、これで本当に良いのか？このクラスでは勝てないのか？

そんなとき、クラスの人たちはまだ諦めていないことを知った。私が思っていた「本番まであと2日しかない」が、「まだ2日ある」に変わった。「2日間、全力でやってみよう！」という友達の思いと、クラスでとれたソーラン節のセンターが大きな励みになった気がした。最後の2日間の練習では、声をかけ合ったり、大縄を31回跳んだりなど、前とは明らかに違うものがあった。私は少し希望が持てた。

当日、学年種目や大縄が上手いかず、とっても悔しかった。しかし、みんな個人競技やリレーを頑張った。ソーラン節はクラスの良さを生かした気がするし、競技を見ている間は応援をたくさんした。個人的に上手いかなかった学級対抗リレーも、他の人がカバーしてくれた。上手いかないことも多かったけれど、結果は3位。予行のときは、大きな差で最下位だったクラスが、心を一つにし、ここまで来ることができた。私はそれがすごくうれしかったし、クラスの絆を感じることもできた。

この先の1年間、もっとクラスの中を深めたいと思う。私はこのクラスで良かったと心から思った。